

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・多くの観光客の方々や店員さんにお話をお聞きして、米沢の魅力や道の駅のすばらしさを再確認することができた。実際に食品を試食することで、おいしさについて改めて気付きこれからより良くするために必要なことは何かを考える材料にすることができた。今回のインタビューをもとに、道の駅を今まで以上に発展させていくにはどうすればよいのかを熟考していきたいと思う。
- ・道の駅にいらっしゃっている方々に質問をさせていただく際、「どうしたら失礼じゃないか。」「どんな質問をするといいか」などたくさんのことを考えながら行うことができました。初対面の方に自分からいくのが少し不安だったけど、どの声も優しく、丁寧にこたえてくださってとても貴重な時間でした。
- ・駅長さんの話から、米沢道の駅が何を目指し、アピールしているかなどわかったし、お客さんへのお話でいい所や、こうした方がいいという意見が聞けてよかったです。道の駅が目指すものとお客さんが求めるものは少し違いがあって難しいなと思いました。
- ・初めて道の駅に来て、実際にフィールドワークをしながら課題や現状を学習できた。もう少し、研修の時間を長くしてほしい。来ている人に話をたくさん聞けてよかった。
- ・道の駅で様々な年代や足腰が不自由な方 子ども連れの方に道の駅の感想を聞いてバリアフリーに気づいたり、それぞれの目的などの傾向などを感じることができた。
- ・班の人と色々なことを調査して考えをまとめ合うことができたのでよかったです。B期のFSもがんばりたいです。
- ・平日ということもあり、思った程の成果はなかったが、利用者の思う改善点や利用者層を知れたのは米沢という土地を知る鍵となりそうだ。
- ・道のえきに来ていた様々な人にお話をきいて、どのような目的・要望があるのかきけてよかった。これらを生かして次のFSも がんばりたい。
- ・今回のフィールドワークでは、いろんな人に話を聞くことができよい経験となりましたが、これをもとにプレゼンをするなら、もっと多くの人に聞きたかったし、もっと長期的にするべきだと思いました。次回のプレゼンでは、これらを活かしてがんばりたいです。
- ・身近な施設である道の駅での講義で、今まで知らなかった部分を知ることができ地域振興の分野に少し興味が湧いたように思った。フィールドワークでは中々、人に話しかけることができず、時間を有効に使えなかったのもっと積極的に活動したい。
- ・実際に道の駅の人に話を聞いてみて、県外の人からの米沢の道の駅について色々知ることができて楽しかった。
- ・現地調査で道の駅米沢に訪れた人に話をきき、自分たちの地元をよりよくするために必要な情報を入手できたので、第3回FSのまとめの材料として活用したいです。道の駅をぐるぐる周ったのはいい機会でした。
- ・今回初めて道の駅よねざわを訪れ、地元観光業の現状を見たが、想像してたよりずっと県外からのお客様が非常に多かった。しかし、何をしに来たのか聞いてみると、米沢の観光というよりも山形に行くときの通り道としての考えが強く、米沢はほとんど見られていないことが分かった。これからはもっと米沢を見るべきだと考えさせるアイデアが必要だと感じた。
- ・地域の問題点を見つめなおすことができ、新たな視点で考えられた。また、「道の駅米沢」を通して、いろいろな人々と関わるとても良い機会だった

- ・話を聞いたりお客さんにインタビューしてみて、道の駅がどのような立ち位置で活躍しているかが分かって良かったし、楽しかった。
- ・実際に道の駅の中の様子を見学し、どのような商品を取扱っているのか、パンフレットの種類、SNSの活用の仕方などが分かりました。そして、外国の方向けのパンフレットの多さに驚きました。これから集めた情報をまとめ、次の活動につなげたいです。また、グループのメンバーと協力しながらフィールドワークを行えたので良かったです。A期の活動は残り1回なので頑張りたいです。
- ・実際にその場にいる人の声を聞くことで、感じることも違ってすごく大切だと思った。地域の魅力をたくさん紹介するためにどの年齢層にとってもなるべく利用しやすいつくりになっていたのに感動した。次回では、お客さんと運営側との意図がかみ合っているか確認して、深く掘り下げていきたい。
- ・班の中で手分けして、道の駅の意識と実態、それに対する来訪者のイメージをそれぞれ獲得できた。次回はそれらを結びつけ、どうしたら道の駅をつかって米沢を盛り上げることができるか、班としての考えを完成させたい。
- ・色々な人に質問していて、道の駅に来る人の目的、来た場所が異なっていておもしろかった。
- ・米沢の事について、予測をこえた事を知ることができて、フィールドワークをしてよかったと思いました。
- ・情報をとるためにアンケートをしたけど、やっぱり過程って大事だなって思った。
- ・フィールドページを通して沢の他地域からの印象や道の駅について詳しく知ることができて良かった。実際にインタビューをしてみることで、米沢に関する魅力や課題を見つける良い機会となった。
- ・校内で話を聞くだけより、実際に見て聞く方が理解が深まった。まさに百聞は一見にしかずで、どのような施設で、どのような商品があって、どのような人が訪れるのかがよく分かった。店員さん方も親切でさまざまなことを教えていただけて嬉しかった。さらに米沢や地域振興に興味があった。
- ・グループ活動を通して、たくさんの人々(従業員の方や、来観者にインタビューできたことで、よりよい発表ができると思います。

② 人文学とサイエンス

- ・きれいなメモとまとめと文字を見れた。自分のこういう部分の未熟さの原因が理解できそうだった。
- ・実際にワークを通してグループの人と意見を交流し、考えを深められた。
- ・オンラインでの参加でしたが、話の中身が興味深く、面白かったです。「防災情報」に焦点をあてるのは意外でしたが、SNSを利用する私たちに全く関係がないわけではないので、これからの情報社会では、「だいふく」や「あまい」を大切にしながら利用していくことが重要になってくるなと思いました。
- ・情報防災訓練についてのお話で、受信と発信の特徴についてわかりました。
- ・身近な内容を基に、情報の扱い方や特徴、注意すべき部分について学ぶことができて面白かったです。
- ・講師と対話できれば、講義が盛り上がり楽しめると思う。生徒に将来的な大きな課題を投げかけてくれたら講義後も興味関心が続くのと思った。
- ・話がとてもわかりやすく、おもしろかったです。
- ・SNSは気を付けて使っていくべきだと改めて実感した。
- ・普段使っているSNSの情報との向き合い方について学べて良かったです。
- ・話し合いもあったためか、かなり内容を理解できた。またこの分野について知りたいと思えた。
- ・グループ活動を通して、情報に対する考えたことを共有することで、深められたり、自分にはなかった考えを開けて良かったです。

- ・ SNS が危険というのではなく、危険な部分を理解することでよくなるというのは、いいと思った。発信していく際は気をつけていきたい。
- ・ SNS の防災に対する使い方を学ぶことができ、よかったです。
- ・ 改めて SNS の怖さや有効さを理解できました。
- ・ 勉強になった。
- ・ SNS の利用するために気を付けること、大切なことの再確認ができた。
- ・ 今後も SNS をたくさん利用するので、情報リテラシーをしっかりと身につけるようにしたい。

③ 教育と科学

- ・ 授業の内容や構成を考えるのが大変だった。みんなにわかりやすい授業を行う難しさを知った。模擬授業が上手くいくように練習を頑張りたい。
- ・ 仲間と授業の内容を考えて作る体験はとても面白かったし、楽しかった。でも実際に教師になったらこれを一人でやるんだと思うとだいぶ大変だなと思った。
- ・ グループ活動の話し合いによって活動の質が上がった。
- ・ 自分たちで教育方針をたてるのが、思ったよりもずっとたのしかった。時間がたつのがあっという間で、すごく充実した時間だった。
- ・ 中学生を対象にした授業の内容を考えることができた。どこが分かりづらく、つまずきそうかを考えながら内容を組み立てることで、分かりやすくなったと思う。
- ・ 自分で、とこがつまずきやすいかを考えることで視野が広がったと思う。
- ・ 先生は毎時の指導案を作っているのだと思うと大変だなと思った。スムーズな授業を行うには綿密な計画が重要だし、時間管理を行うのも大切だなと思った。
- ・ 自分が問題を解くことは簡単だけど、他人に教えることは難しいと感じた。良い模擬授業をするためにグループワークができた。
- ・ 授業計画が決まってよかった。
- ・ 指導案を考えてみて、4人でも考えるのは、かなり大変だったのに、先生は、これを1人で作成していると考えると、教員はやはり、簡単な職業ではないと思った。
- ・ ねらいにそった授業の流れをグループで考えることができた。例文にまちがいがいかなどを話し合っってよりよいものにしようとするのができた。どうしたら、分かりやすく、支援も考えてできるのかを考えるのが難しかった。
- ・ 模擬授業をやってみて先生方は大変なことをしているのだと実感した。
- ・ 授業するのメッチャ楽しみです

④ ライフサイエンス

- ・ 班の人と協力してポスター作成をして、自分の視野を広げることができた。
- ・ グループで協力してできてよかった。(2)
- ・ ワークショップなどで班の人と協力してポスター作成ができて楽しかった。
- ・ こんなゴミが出てるなんて思いませんでした。明日からは積極的にゴミを減らしていきたいです。
- ・ ごみや食品ロスを減らす取り組みを知ることができた。
- ・ 自分は今まで、あんまりご飯を残したことはないけど、さらにご飯を残さないようにしようと思いました。ごみも分別してできるだけださないようにしようと思いました。
- ・ 食品ロスを削減するためにどうすればよいのか考えを広げることができた。なるべくなくせるようにして生活したい。

・山形県のごみの発生量の変化と課題について知ることができ、様々な観点から、問題解決のための方法を考えることができたので良かったです。今日の学びを探究活動に活かしたり、実際に行動したりしていきたいです。

・ゴミ問題は私たちの身近にあるものなので、高校生でも考えやすいし、高校生ならではの解決法もあると思いました。

・食品ロスやゴミ削減のために、たくさんの人が様々な活動をしていることがわかりました。私でもできることがあるとわかったので、これからは、好き嫌いをなくしたり、最後まで食べたり、ゴミを分別したり、プラスチックゴミを出さないなどの活動をしたいです。市や県でやっている活動も調べて、できることは協力してやりたいです。

・私たちの身近なゴミについての問題について深く考えることができてよかったです。食品ロスをなくすために日々の生活から心がけていきたいです。

・高校生でも環境のためにできることがたくさんあって、食品ロスやプラスチックゴミの問題が、今までより身近に感じられた。できることをさがしていきたい。

⑤ 機械・エネルギー工学と社会

・とても勉強になりました。

・今回はロボットについて学んだが、柔らかい素材を用いることで変形や衝撃吸収していたのが斬新で良かった。

・前回に続き今回も楽しい時間になった。自分は思いつきもしなかった興味深い試みや新たな問題も知ることができ良い経験になった。

・ロボットといっても、カチカチのだけでなく、おもしろかった。

・工学は難しい

・工学の難しさを知ったと同時に、やりがいとおもしろさがつまっていると思った。

・触ったり見ることができて楽しかったが、工学は難しいということを実感できた。

・今日のFSでは人体と機械のつながりを深く実感しました。手や関節、目腕といったところまでつながりがあって、これこそ異分野融合サイエンスだと実感しました。まだロボットだけでなく、自分の知らない新しい技術を知ることで、視野が広がったと感じました。

・研究の面白さが分かった

・人の動きや動物から着想を得つつ、既成の動きに捉われない視点が重要だと思った。(手の先に目をつけるなど)技術の研究を進めつつ、世界初の試みに挑戦するのは、研究が嫌にならないゴツの一つだと感じた。他の研究でやっていることを別の分野で再現することは単なる二番煎じではなく、新たな可能性を見つけるきっかけになるのではと感じた。

・様々な技術に触れることができ、課題解決へ向かうアプローチを学ぶことができた。

・将来にわたりとても実用的なものばかりで面白かった。このような活動は意欲的に取り組んでいきたい。

・ロボットは頭を使うのは得意だけど、手足など微細運動ができないことが分かった。山大では握手や指さすことが開発されていて、技術力があるなと思った。

・難しい内容の話が多かったがとても興味をひかれるものばかりでおもしろかった。

・ロボットをたくさん見て、世の中でいろんな所で活用されていることを知ることができた。でも日常生活でロボットを見ることはほぼないので、もっと社会で利用されてほしい

・様々なことを知れて良かった。

- ・ロボットらしいロボットを見れたのが面白かった。
- ・普段触れることのないロボット(機械)に触れられて良かったです。
- ・自分が知らない研究をたくさんしていた。簡単な動きをするためにも難しいプログラミングが必要なのだと分かった。
- ・地域振興とサイエンスが深くむすびついているということがわかった。様々な部野で活用しているロボットがたくさんあってすごいと思った。

⑥ デザインと工学

- ・楽しく、気楽に取り組めてよかったです
- ・サウンドスケープをできるだけ沢山の視点から学ばせて頂くことが出来てとても楽しかった。何より、体験的な学習が非常個性的で面白かった。
- ・前回より体験的な事が増えておもしろかった。小学校から言われていた相手の立場になって考えることの大切さを再度実感した。
- ・実際に自分が体験してみることで視覚障害者の方の恐怖を少しだけ理解することができた。めったにない経験だったので、忘れないようにしたい。とてもおもしろかった。
- ・体験が多くて楽しかったです。視覚障害者のためにできることを考えていきたいと感じました。
- ・視覚に障害を持つということが想像よりも怖いことを知った。また、そういった人たちの手助けになれる方法も分かったので、ぜひ活かしたいと思った。
- ・疑似体験なども通して、視覚障がい者にとって、音がきこえないことがどんなに不安を理解することができたし、普段私たちが視覚にどれだけたよっていたのか知ることができて、とても面白い講義だった。
- ・視覚障害の体験を始めてしてみて、どんな状況なのかわからないことが不安だった。どれだけ視覚に頼っているのか実感した。目の見えない人の視点から、デザインしていく必要があるとわかった。
- ・サウンドスケープについて学び、音について、さまざまな事象が視覚障がい者の目線から、リアルに体験できたので、とてもおもしろい内容でした。
- ・サウンドスケープデザインについて 詳しく考えたことは今まであまりありませんでしたが、体験や講義を通してこの分野についての知識がより綿密になり、興味をもつきっかけとなりました。
- ・体験が長かったので面白かった。
- ・デザインやサウンドスケープの意味が1つではないことや普段どれだけ視覚にたよって物事を判断しているかを実感しました。とても楽しかったです。
- ・視覚障がい疑似体験をすることで、視覚障がいをもつ人の気持ちが分かった。(恐怖感)今までの私たちは、視覚で物事を捉えることができるという安心感の下、生活してきたのだと実感した。
- ・体験型の様々な学習を通して、「音」や「サウンドスケープ」について深く知れてとてもおもしろかった。
- ・実際に体験したことによって、視覚障害者の気持ちを少し理解することができたと思う。とても楽しかった。
- ・実際にアイマスクをして体験してみて、視覚障がい者の目線から世の中を見ることができて多くの発見があった。体験を通してサウンドスケープの重要性がより感じられた。
- ・実際に体験して、より身近に感じながら学習することができて楽しかった。

⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・外国の人と意見を交換する機会は貴重だったので、とても良い経験になりました。

- ・自分の単語力は、まだまだ足りないということを実感したので、外国人とのコミュニケーションがスムーズにできるように、もっとがんばらないと思った。大学生との交流は、自分の考えを深める、とても良い機会になったと思う。
- ・外国の方と話すのが初めてだったので、とても緊張したけど、自分の考えを伝えることができた。とても良い経験になった。
- ・同じ班だった山大生の方と外国の方と同じ議題で話して、国の文化や年齢の違いで考える角度がとても違っていたので、色々な意見が出たことが面白かった。

⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・植物について、性殖や、分類の面から考えることができ、とても楽しかった。先生の講義がとてもおもしろく、自分の好きな分野で、時間があつというまだった。
- ・いろいろなものの生殖の方法や、先生の服についてわかりました。
- ・実際に大学の教授の話をお聴くと、今までとは全く違う刺激が得られて、とても興味深かったです。是非またこのような話を聴きたいです。
- ・今日の渡辺先生の話をお聴いて、まで考えたこともなかったズッキーニの断面の形やピーマンの種の部屋について考えられとてもためになったし、なにより楽しかったです。
- ・これまで私は植物に対する興味が無く、今回の講義に対する意欲があまり湧かなかったのですが、観察や教授のお話を聴くうちに、植物の奥深さに触れ、自殖と人との関わりを学び、植物に対する興味・感心を持つことができました。今日の学びを活かして、後の学校生活、人生を送っていきます。
- ・植物について新たな視点から見る事ができた。とうもろこしのひげが雌花だということを知った。つぶ1つ1つにつながっていて管としての役割だと分かった。植物だけでなく、他の生物の関係についても学びたいと思った。
- ・今まで知らなかった、植物や動物のことを知れて良かったです。また色々な話を聞いて楽しかったです。
- ・普段生活している中で、何気なく見ていたものに、これだけのおもしろさがあり、とても勉強になりました。
- ・内容もおもしろく、人に興味をもたせる話し方は大変参考になりました!
- ・身近な野菜の見た目や種など、あまり意識していなかった部分について聞いて、とてもおもしろかったです。
- ・身近な野菜を切って断面を見たり、でき方から分類したりするのがとても面白かった スイカの断面が個人的にすごくクルクルしていて面白かった。
- ・品種改良や種類の違いで、種物は大きく姿を変えるものであることを知って面白いと感じた。
- ・とても聞いていて面白く、とても勉強になる講義でした。植物の分類などについて、実物を見ながら学べて、とても良かったです。
- ・前回とは異なることについて学べて、とても面白かった。内容が分かりやすく、理解しやすくよかったです。
- ・とてもおもしろく、わかりやすい講義でした。とくに、サクランボの種類について、果実は母親のものということがすごく納得できました。
- ・東北大学の講師の方から直接お話を聞けたのでよかったです。将来の可能性を広げられるように、これからもいろいろなことにチャレンジしていきます。
- ・進路について迷っていたので、先生の講義を聞いてよかったです。スイカを食べるときに、すくい

やすい所は心皮だったんだなと思って、次たべるときは考えて食べたいと思いました。

- ・実際に野菜を見て楽しみながら学びました。やっぱり実際に見ることで大切だなと思いました。また講義をしていただきたいです。
- ・身近な野菜や果物を食べるだけで、今まで分類など考えたこともなかったので、とても楽しかったです。自家不和合性など、知らないこともたくさん知れて、貴重な体験でした。
- ・徳川の話など、ためになるおもしろい話が聞けてよかった。
- ・食べ物がすごくおいしそうだった。先生もおもしろくてすごく聞きやすい講話だった。
- ・生物の中でもあまり興味の無い分野だったが、自家不和合性が面白かった。
- ・世の中の当たり前前のが違う視点でみると変わって見えるということが、わかりやすい例によってよくわかりました。

⑨ 医療の最先端

- ・今回は、最近の医療課題を学んで、コロナ禍によってたくさん問題が露点したことが分かっていたが、まだまだ知らないことや、医療体制を変化しているのだと思い、より理解したいと思いました。
- ・今までそんなに感じていなかったけど、今回、医療にも課題がたくさんあるということを知れた。これから日本の人口や年齢の割合の変化に伴って、医療の体勢も変えていかないといけないんだと感じた。また、国との間で医療のあり方は大きく変わるということが分かった。
- ・医療の現場がひっ迫している、ということしか知らなかったけど、実際の背景を読み取ると、日本は世界の国々に比べて病床数は多いけど、精神病床数や長期ケア病床数が多いのであって、コロナ対応の病床数は多くないということがわかって、とても納得しました。また、人口と医療は大きく関わっているということを知って、医療分野を学ぶにしても多角的な視点で考えていくことが重要であると感じました。
- ・コロナ禍で医療がひっ迫しているという話はよく聞いていたけれど、それ以前にも問題は様々あることに気づくことができた。今回の講義で、医療についてよりくわしく知りたいと思ったし、患者さんも医師も、利用しやすい環境が必要だと思った。
- ・今回地域医療との関わり合いを通して、社会全体での課題に触れることができた。また、最先端の医療技術や新薬についても知ることができ、興味関心が増した。特に、医療従事者の増減と患者さんのニーズに答えるためには、地域との連携が鍵になることが分かった。これから生きる私たちが1つ1つの課題に親身になって向き合っていくことが大切だと思った。
- ・今回は、医療の政策と課題について、いろんな面からのお話があって、ちょっと難しかったけど、すごくおもしろかったです。私は、手術支援ロボット「ダヴィンチ」にすごく興味を持ちました。どんな風に手術するのか、実際にどのようなモニターをみて手術をするのか、時間があったら、調べてみたいです。
- ・正直全体的に難しかったけど、山形県は医師不足だということは分かった。また、山大の癌の治療の設備に興味をもったので、行ってみたいと思った。地元の人々に貢献できる医師になりたいと思った。
- ・提供する医療の形が時代とともに変化してきていると知って、時代に合わせた取り組みが必要だと感じた。また、様々な観点のバランスがとても大切なのだを知ることができた。医療と地域のつながりをもっと知りたいと思った。
- ・医療について良い面を考える機会はあるが、問題点について考える機会は少ないので、今回の FS は貴重な経験だった。

- ・人口減少や高齢化は医療に大きく関わっていることを改めて実感できた。日本のそういう変化により、医療ニーズや医療の在り方が変わり、治すだけでなく、支えたり役割分担をして連携したりとやるべきことが変わってくるのが知れた。
- ・人を助けることだけでなく、いろんな問題があって、山形はいくつか下の方にあったから高齢化が進んでいく中で医者などもふえていかないとなーと思いました。
- ・医療の現状を数値として見る事で、わかりやすく講義を受けることができ楽しかった。自分なりに、課題を考えられた。
- ・日本の医療には改善点がたくさんあり、コロナの患者さんの対応も大変そうだった。
- ・今回の講義で、資料を読む中で、前から気になっていた理学と作業療法士の違いについて知ることができてよかった。
- ・山形県、米沢市の今の医療現場の現状が知れて、とても楽しかったし、日本は、世界と比べて、保険体制がしっかりしていることは、前から知っていたが、表を見たことで、具体的に知れて、今後の職業選択に生かせると思った。
- ・今の医療現場の現状や問題などを様々な観点から知ることができました。新しい思考が増え、将来の視野も広がったと思います。
- ・今回は現在の日本の医療体制について学ぶことができた。山形大学医学部附属病院では、ロボットを用いた最先端の医療が取り入れられていることが分かりました。山形県では、どのような技術が取り入れられているのか調べたいと思いました。
- ・医療における課題について知ることができた。患者さんのニーズに答えられるように、医療機関どうしが連携し合っていくことが大切だと思った。また、様々な場合で、バランスが保たれている状態をつくるのも大切だと思った。分散せず、集約化できるような政策をしていく必要があると思った。
- ・今までよりもっと、理解が深まった。興味も増えた
- ・今の医療にはまだまだたくさんの課題があることが分かった。進化することにより、出てくる課題もある。最近の病院は役割分担をして、日本にはたくさんのベッド数があることに驚いた。
- ・初めてのことをたくさん知ることができて、将来の進路の視野を広げるきっかけになりました。良い機会でした。
- ・医療の世界には、たくさんの課題があると知れた。役割分担をしっかりして、質の良い医療を提供できる体制を整えることが大切だと思った。